

## ②保健事業実施計画（データヘルス計画）作成の構成案と策定ポイント

### 構成案（国保・後期広域）

#### 1. 保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

- （１）背景・目的
- （２）保健事業実施計画（データヘルス計画）の位置づけ

#### 2. 記載すべき事項

- （１）基本的事項
  - ① 計画の目的
  - ② 計画期間
  - ③ 実施体制・関係者連携
- （２）現状の整理
  - ① 保険者等の特性
  - ② 第１期データヘルス計画の考察
  - ③ これまで実施してきた保健事業の考察
- （３）健康・医療情報の分析・分析結果に基づく健康課題
- （４）目標
- （５）保健事業の実施内容
- （６）保健事業実施計画（データヘルス計画）の評価・見直し
  - ① 評価方法・時期
  - ② 計画の見直し
- （７）計画の公表・周知
- （８）個人情報取り扱い
- （９）その他の留意事項

#### 3. 保健事業実施計画（データヘルス計画）策定における支援等

- （１）国保・後期高齢者ヘルスサポート事業
- （２）国保ヘルスアップ事業
- （３）保険者努力支援制度等の保険者インセンティブ

#### ポイント① データヘルス計画の策定状況・体制

円滑かつ確実な業務体制の確保及び関係部局連携、組織外連携により進める。

#### ポイント② データヘルス計画の策定過程

既存事業の分析、多角的・複合的な状況分析・課題抽出・目標設定、数値目標設定・KDBの活用、他との比較分析

#### ポイント③ データヘルス計画に盛り込まれた事業

- ・盛り込む事業の選択と優先順位づけ
- ・保健事業に係る記載事項の明確化
- ・高齢者の特性を踏まえた事業展開
- ・保険者としての事業と他事業との連携、役割分担
- ・他保険者、地域における関係者との連携
- ・実施体制等の記載

#### ポイント④ データヘルス計画自体の評価

- ・第三者を支えた評価体制の構築
- ・計画の進捗確認の実施（毎年・中間・最終年）

#### ポイント⑤ 保険者等としての地域包括ケアの推進

- ・地域で被保険者を支えるまちづくり、仕組みづくり
- ・課題を抱える被保険者の把握と働きかけ
- ・国保直診施設の積極的活用
- ・地域包括ケアに係る現状分析

#### ポイント⑥ 他の保健・医療関係の他の計画との関係

- ・期間は平成３５年までの６年とする
- ・特定健診等実施計画と一体的に策定することとして差し支えない。その場合、特定健診等実施計画を単体で公表できるよう、章を分けるなど構成を工夫する。